登米地域アマチュア無線クラブ　　　　２０２４年８月１４日発行

事務局だより

真夏日や猛暑日があるのが当たり前、台風が東北に上陸するなど、地球温暖化の影響で気候がすっかり変った感がある昨今ですが、皆さん変わりなく元気でお過ごしでしょうか？

さて、アマチュア無線界は、サイクル２５が思いのほか良好で、今まさにそのピークか？というような好コンディションにより、多くの方がＤＸ（遠距離）交信を楽しんでいるようです。また、お空のコンディションに関わらず、相変わらずデジタルモードのＦＴ８やＦＴ４は人気のモードとなっていて、日々沢山の交信が行われています。

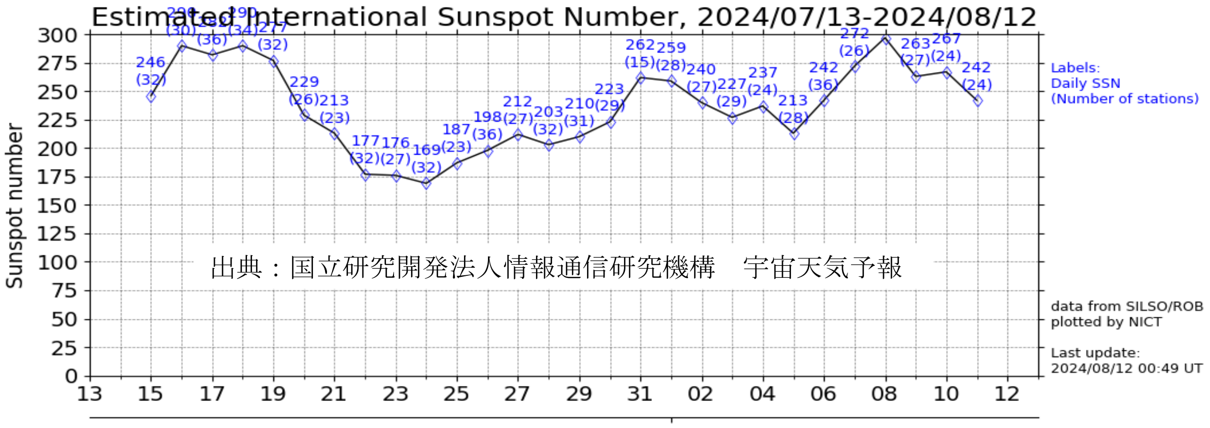
コンディションがいいので、レガシーモードのＣＷ（電信）やＳＳＢ（音声）でも世界各地と交信できる状況ですが、多くの方がデジタルモードに夢中で、ＣＷやＳＳＢにオンエアーする局はそれほど多くなく、その点は少しさみしい気もしますが、みなさんはどう思われるでしょうか？。

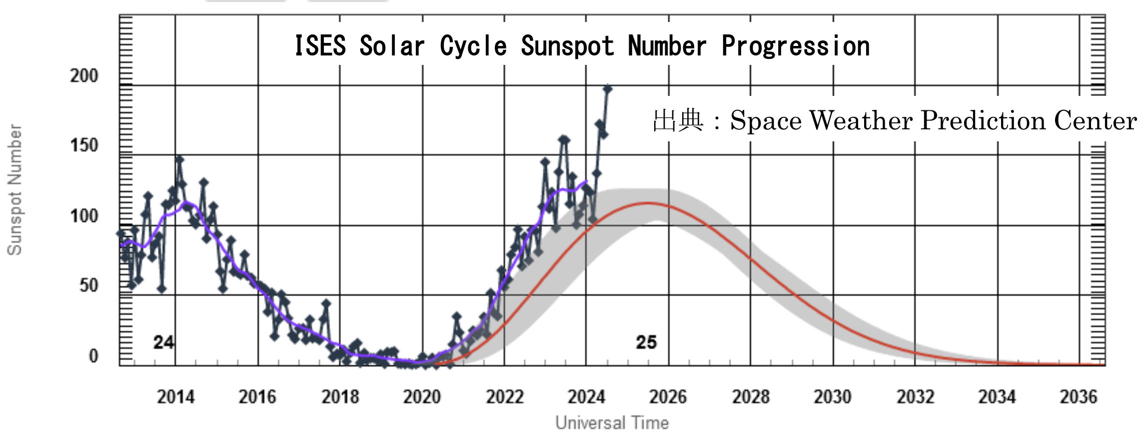
いずれにしても、皆さんそれぞれ好きなバンドやモードというのがあるでしょうから、それを中心にハムライフを楽しむことが一番かもしれません。

■ サイクル 25 とは

太陽の活動は約 11 年周期で変動していて、黒点数の増減やフレアの頻度、太陽風の強さなどに表れます。今は、太陽表面に現れる黒点活動観測が始まった 1755 年の第 1 期から数えて 25 期目にあたり、サイクル 25 と呼ばれています。

太陽活動の一指標である黒点数は一昨年から増え始め、最近では 200 台から 300 に迫る状況となっており、電離層密度が高まり、短波の電波は電離層で低損失で反射され、遠方にまで良好に届くようになっています。





さて、今年度も間もなく８ヶ月を経過します。ここでこれまでの当クラブの活動を振り返ってみたいと思います。

２０２４年度　１月～８月の活動報告

期　　日	事　　業　　名	会　　場
R6. 1.13（土）	２０２４年度（令和６年度）総会	中田農村環境改善センター
R6. 2. 5（月）	オンエアーミーティング	――――――――
R6. 3. 5（火）	定例会 及び 技術講習会	〃
R6. 4. 5（金）	定例会 及び 技術講習会	〃
R6. 5. 5（日）	定例会、フォックスハンティング実行委員会	〃
R6. 5.26（日）	第４９回モービルフォックスハンティング	迫兵粮山公園駐車場
R6. 6. 5（水）	オンエアーミーティング	――――――――
R6. 7. 5（金）	定例会	中田農村環境改善センター
R6.8.1 ～ 31	マラソンコンテスト	――――――――
R6. 8.14（水）	事務局だより発行	――――――――

● 総会　･･･　１月１３日（土）

当会の定期総会、コロナ禍では毎年予定が延期される事態となっていましたが、今年度は当初の予定通り、１月１３日（土）に開催することができました。久々にスムーズに新年度のスタートを切ることが出来てひと安心でした。

当日は８名の参加で、2023 年度の事業報告・収支決算報告、2024 年度の事業計画・収支予算案について審議が行われ、いずれも原案のとおり承認されました。また、役員については事務局員を２名から１名に減員した以外は留任となりました。

● 定例会・オンエアーミーティング

コロナ禍も一段落し、今年度の定例会は当初の計画通りに実施出来ています。ただ、相変わらず参加者はいつも数名でいささか寂しい状況が続いています。オンエアーミーティングについてもしかりです。皆さんそれぞれ諸事情あると思いますが、出来る限り参加いただければ幸いです。

● 技術講習会 ･･･「モールス交信に挑戦！」 ･･･ ３月５日（火)、４月５日（金）

毎年毎年どういうテーマにするのか苦慮するのですが、いろいろリサーチしている中で、モールス符号（モールス通信）の習得に最適と思われる「モールス練習機能付きエレキーキット」を見つけたことと、数年前にクラブ員からモールス通信について取り上げてほしいという要望があったことから、今年の技術講習会のテーマは「モールス交信に挑戦！」ということになりました。

希望者には「モールス練習機能付きエレキー」のキットまたは完成品を斡旋した上で、技術講習会当日にはオリジナルの資料に基づき下記のような内容の説明を行いました。

ちなみに、モールス練習機能付きエレキーの購入申し込みは、キットが１人、完成品が５人、合計６人でした

また、オリジナル資料は全３４ページで、モールス符号の習得からラバースタンプＱＳＯまでを網羅した実用十分なものを作成・提供しました。

（資料は技術講習会への参加の有無に関わらず、クラブ員全員に送付済みです。とても実用的で充実した内容となっていますので、是非有効に活用ください。）

今回の技術講習会の主な内容

・モールス練習機能付きエレキーキットの製作と使い方の説明
・モールス符号の受信練習に関する説明
・エレキーとパドルに関する説明
・モールス符号の送信練習に関する説明
・ＣＷ（欧文電信）による実際のＱＳＯ（交信）のやり方に関する説明

● モービルフォックスハンティング ･･･ ５月２６日（日）

大会当日は晴天に恵まれ、気温も暑からず寒からず、絶好のフォックスハンティング日和となりました。

エントリーは４チーム・６名と、過去最小となり、なんとも寂しい大会となってしまいました。元々、地元の愛好者がほとんどいないことや、常連のハンターの方々が高齢化などにより遠方からの参加が難しくなったことが主な要因と推測されます。加えて、当クラブの会員も、実働の人数が限られている中で運営の方に人員を割かなければならず、ハンターとして出たくても出れないという状況もありました。

さて、集合地点（スタート地点）についてですが、昨年度と同じ「兵粮山公園駐車場」でした。この場所は大きな沼（長沼）の縁に位置しますが、周囲より若干高く（標高約２６ｍ)、障害物もないので方向探知はやり易いと推察されます。

次に、ＦＯＸについてですが、ＦＯＸ１は１名（JA7IUX)、ＦＯＸ２は２名の体制で実施しました。ＦＯＸ２の担当は当クラブ員で初めてＦＯＸを務めるＪＬ７ＪＡＳ・及川OMと、会員ではない市内のＪＮ７ＶＦＯ・桜井OMに協力をいただきました。

肝心のＦＯＸの場所ですが、ＦＯＸ１はＪＲの梅ヶ沢駅（迫町)、スタート地点（兵粮山公園駐車場）から直線で西方向５．７Ｋｍ、道なりで８．１Ｋｍ（１１分）の所でした。また、ＦＯＸ２は米山道の駅（米山町）、スタート地点から直線で南方向８．８Ｋｍ、道なりで

１２．１Km（１９分）の所でした。その配置で、ＦＯＸ１とＦＯＸ２は直線で１０．６Km、道なりでおおよそ１４Km（２０分）でした。

競技結果は下表のとおりです。（＊競技開始時刻は１０：００です。）

順位	チームメンバー	ＦＯＸ１ 発見時刻	ＦＯＸ２ 発見時刻	所要時間 （ 分 ）
１	ＪＳ１ＧＶＹ	１０：１３	１０：３７	３７
２	ＪＧ１ＭＶＬ	１０：５０	１０：２６	５０
－	ＪＨ７ＫＦＱ	－	－	－
－	ＪＡ７ＫＴＸ，ＪＯ７ＬＹＱ ＪＱ７ＣＺＷ	－	－	－

１エリヤの常連さんが１位と２位で、当クラブ員（ピンク色）の２チームはいずれも機器のトラブルもあり、ＦＯＸの発見に至らずという残念な結果でした。

↑ 解散前に参加者と運営者一同で記念撮影

● マラソンコンテスト　･･･　８月１日～８月３１日

例年、８月は移動運用を行っていましたが、近年は暑さが厳しくて、気力・体力とも消耗するような状況でしたので、今年度はマラソンコンテストを８月に実施することにし、移動運用の方は気候がよくなる１０月に行うことにしました。

このマラソンコンテスト、今まさにその最中で残り半月ほど（事務局だより発行日現在）となっています。事務局が把握している限りでは、参加局はいまのところ４局にとどまっているようです。せっかくの機会ですので、普段あまりオンエアーしていない方も、無線設備の動作確認や、会員とのコミュニケーションを図る意味でも、このコンテストに参加いただければうれしいです。

交信は通常の内容でレポート交換だけでもＯＫです。特別なこと、難しいことは何もありませんし、交信数が少なくても何ら問題はありません。

参加（エントリー）して頂いた方には参加賞（粗品）のプレゼントとありますので、オンエアー可能な方は是非参加ください。

※ 詳細は7月8日付で出しました案内で確認願います。当クラブのWｅｂページでも確認可能です。

２０２４年９～１２月の活動予定

期日・曜日	事　　業　　名	会　　場
R6. 9. 5（木）	定例会	中田農村環境改善センター
R6.10. 5（土）	オンエアーミーティング	----------
R6.10.20（日）	移動運用	未　　定
R6.11. 9（土）	親睦会（移動定例会）	未　　定
R6.12. 5（木）	定例会及び役員会（次年度総会等について）	中田農村環境改善センター

☛ 昨年度は９月３日（日）に登米市総合防災訓練があり、当クラブも災害時応援協定を締結している関係で参加しましたが､今年度は現時点で登米市から防災訓練に関する案内はありません。

☛ １１月は親睦会を予定しています。親睦会を予定通り実施する場合は定例会（またはオンエアーミーティング）はありません。親睦会が諸事情で中止となった場合に限り、通常の定例会またはオンエアーミーティングを行います。

「JARL 宮城県支部ハムの集い」が開催されます

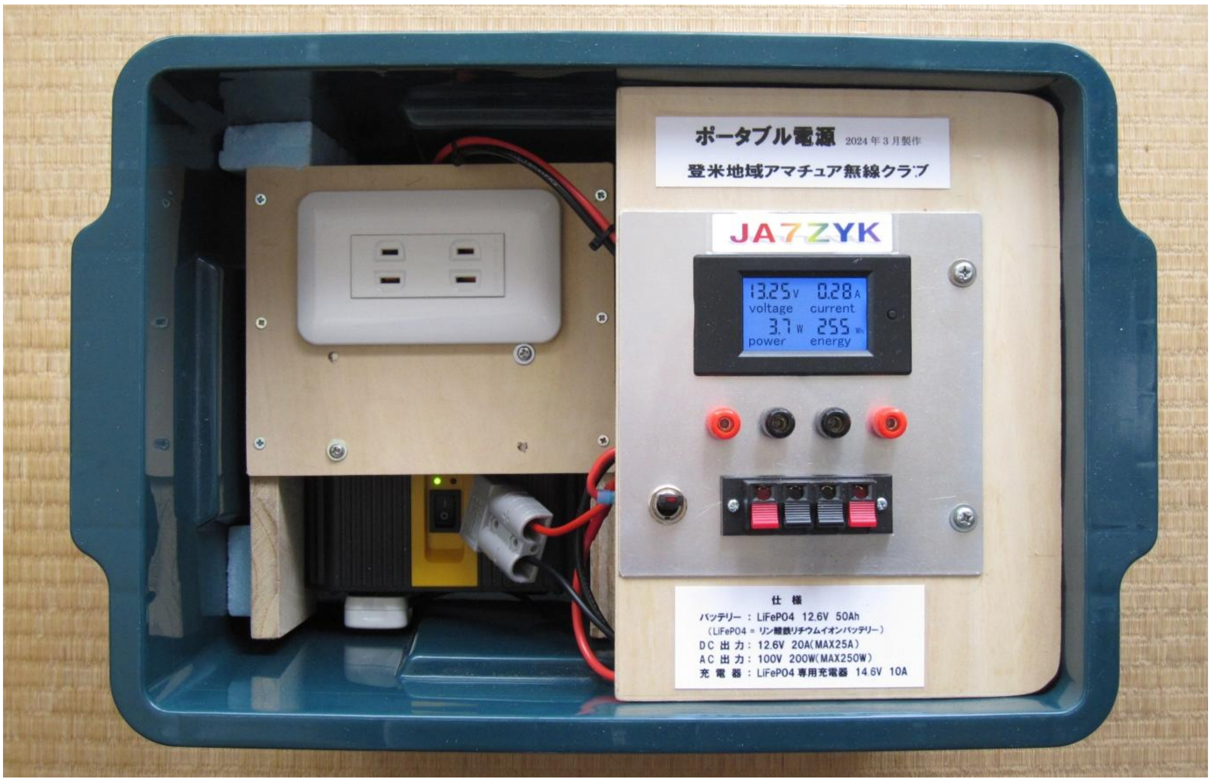
今年度は９月８日（日）に山元町で開催される予定となっています。
詳細は同封しました「JARL 宮城県支部だより」の２ページをご覧ください。

※「JARL 宮城県支部だより」は、ＪＡＲＬ会員であっても宮城支部からは送付されません。そのため、当クラブ事務局で全会員分（ＪＡＲＬ非会員も含む）を印刷し配布致します。
（ 「JARL 宮城県支部だより」は下記ＷＥＢサイトからダウンロードできます。
ＪＡＲＬ宮城県支部　https://www.jarl.com/miyagi/　）

リチウムイオンバッテリーを用いたポータブル電源を整備

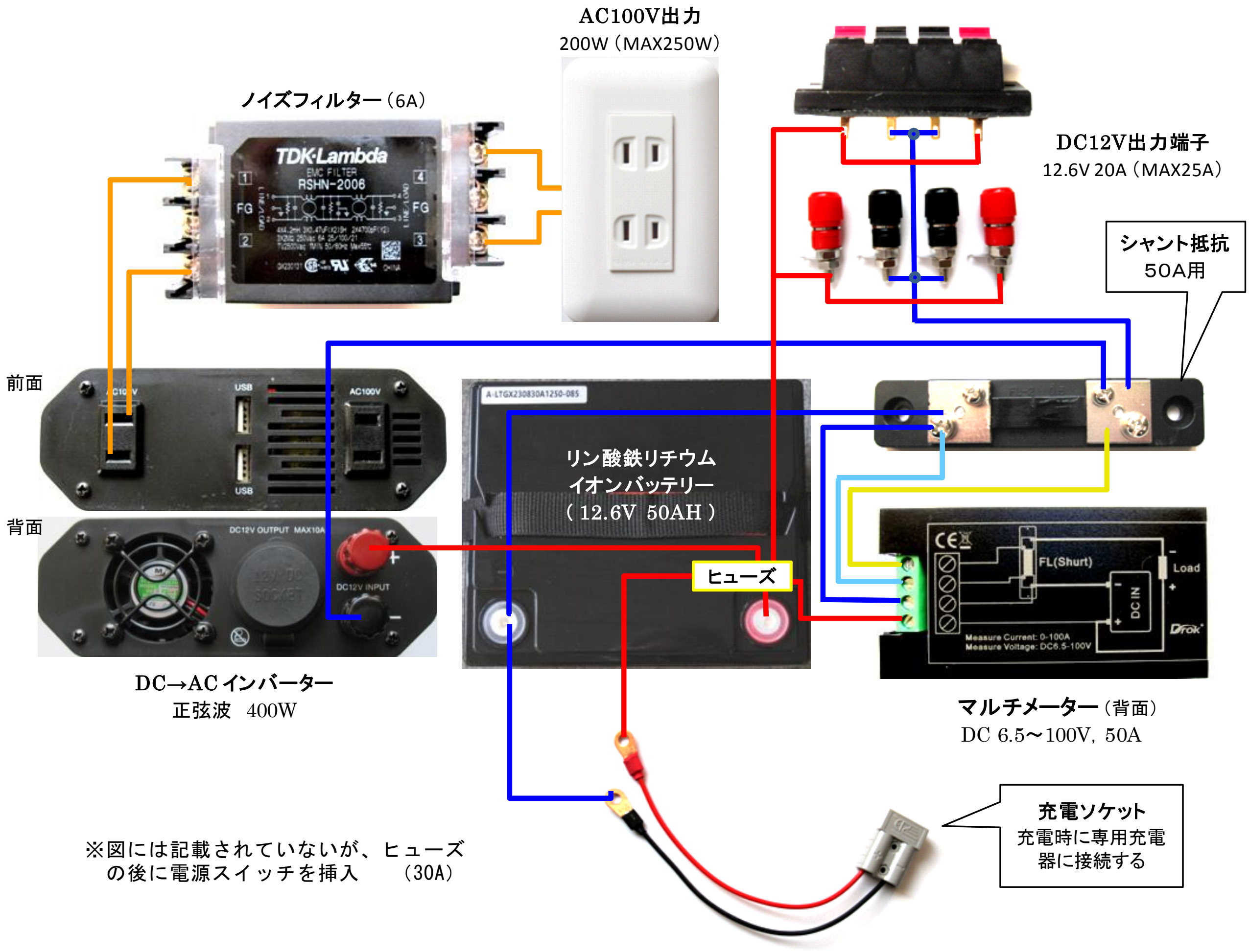
今年度の総会で承認されたポータブル電源を整備しました。
容量５０ＡＨのリン酸鉄リチウムイオンバッテリー（LiTime 12.6V 50Ah）と正弦波インバータ（大橋産業 400W)、それにＤＣマルチメーター（電流・電圧・電力・積算電力計）を収納ケース（ハードボックス）に組み込みオールインワンのポータブル電源としています。鉛バッテリーに比べてかなり軽量で長寿命、実用容量も大きく良いことづくめです。今後、クラブの移動運用などの諸行事の際に有効活用します。
この整備には約５万９千円ほどかかりましたが､少なくても 10 年は使えると思いますのでコストパフォーマンスは悪くはないでしょう。
完成した状態での主な仕様は以下のとおりです。

・バッテリー　：　LiFePO4　12.6V　50Ah（LiFePO4 ＝ リン酸鉄リチウムイオンバッテリー）
・ＤＣ出力　：　12.6V　20A（MAX25A）
・ＡＣ出力　：　100V　200W（MAX250W）
・充　電　器　：　LiFePO4 専用充電器　14.6V　10A



リン酸鉄リチウムイオンバッテリーを用いたポータブル電源の配線図

製作：2024年3月



※図には記載されていないが、ヒューズの後に電源スイッチを挿入　（30A）

アマチュア無線継続的発展会議（ＳＤ会議）」が発足

このニュースについてＪＡＲＬのＷｅｂより転載します。

https://www.jarl.org/Japanese/4_jarl/4-1_Soshiki/SD_kaigi.html
https://www.jarl.org/Japanese/4_jarl/4-1_Soshiki/SD_kaigi2.html

世界最大を誇った日本のアマチュア無線界は、局数が減少し続け 2000 年に 90.5 万局であったものが 35.9 万局（2024 年 2 月末）へと 60%ほど減少し、さらに人口構成の高齢化が進んでいます。また、アマチュア無線資格の新規取得者も減少の一途という状況にあります。一方、局数が増加し続けている国もあり、減少している国でも日本ほど大きく減少している国はありません。

このような状況から、日本のアマチュア無線の将来に危機感を持たざるを得ず、アマチュア界の総力を挙げて継続的発展への方策に取り組む必要があります。

そのためこの度、一般社団法人日本アマチュア無線連盟（JARL)、一般財団法人日本アマチュア無線振興協会（JARD)、日本アマチュア無線機器工業会（JAIA)、CQ 出版株式会社の４者は、2023 年 12 月、アマチュア無線の継続的発展に向けた具体的取り組みと協力体制について検討するための会議体「アマチュア無線継続的発展会議（ＳＤ会議）」を発足させました。

ＳＤ会議は、JARL 森田会長が JARD からの提案を受け、JAIA と CQ 出版にも参加を呼びかけ、各団体のトップ（会長または社長）の参加を得て発足したものです。アマチュア無線界の重要な 4 者がこのような会議体を構成するのは、史上初めてのことです。

ＳＤ会議は、まずアマチュア無線界の現状を認識した上で、世代別に、具体的なアプローチの方法を検討しているところに特徴があります。特に若年層に関しては、メンバーの既成概念を超えて取り組む必要があることから、2 月末から 3 月始めの 3 日間、合計 6 時間以上をかけて、教員、高校生、大学生、20 代社会人、中堅社会人 10 数名へのインタビューを行い、彼らのアマチュア無線に対する「思い」と有益かつ具体的な提案を率直に語って頂けました。

これらの調査・検討を経て、特に若年層についてはアマチュア無線の知名度向上（一般イベントへの出展なども利用)、初めての交信をサポートする講習会、指導者の育成・若年者の保護、JARL/JARD の無線室・アンテナの開放、安価な無線機の提供などの施策が重要と受け止めており、2024 年 4 月中を目標として第一次提言を公表し、アマチュア界の皆さまのご意見を頂くと共に、各団体において、可能な施策から実行に移す予定です。

アマチュア無線の継続的発展に向けた具体的取り組みと協力体制について検討するため、一般社団法人日本アマチュア無線連盟（JARL)、一般財団法人日本アマチュア無線振興協会（JARD)、日本アマチュア無線機器工業会（JAIA)、CQ 出版株式会社の４者にて構成された会議体である「アマチュア無線継続的発展会議（SD 会議)」は、この度、第 1 次報告書をとりまとめ、本日（2024 年 6 月 4 日）公表致しました。

■第 1 次報告書のダウンロード

https://www.jarl.org/Japanese/4_jarl/4-1_Soshiki/SD_kaigi/SD_Houkoku1.pdf

ＳＤ会議は、2023 年 12 月の発足以降、アマチュア無線界の現状を認識した上で、世代別に具体的なアプローチの方法を検討するため、８回の会合とオンラインでの議論をすすめて参りましたが、この度、第 1 次報告書のとりまとめと公表に至りました

第１次報告書の構成は以下のとおりです。

１．アマチュア無線界のビジョン

２．取り組むべき課題

2.1 世代別の施策

2.1.1 無線愛好家の裾野となる層（小中高生）にむけて

2.1.2 次世代を担う若年層（大学生から 30 代）にむけて

2.1.3 社会の中核を担う中高年層（カムバックハムを含む）にむけて

2.1.4 健康で豊かな人生を望んでいる高齢者層にむけて

2.2 世代に共通する施策

2.2.1 アマチュア無線の社会的認知度向上

2.2.2 趣味としての魅力・エキサイティング性の向上

2.2.3 経済的に興味を追求できる環境整備

2.2.4 技術・技能・関連知識の向上に資する施策

2.2.5 社会貢献の実施体制の整備

2.2.6 アマチュア無線の効果的活用・適正運用の改善

３．今後の予定

ＳＤ会議としては、今後も引き続き、具体的取り組みと協力体制について、優先度を定めて検討していく所存であり、その参考にさせて頂くため、アマチュア無線界から広く意見を募集いたします。

以上、アマチュア無線継続的発展会議（ＳＤ会議）に関する話題でした。アマチュア無線界は課題が山積している状況と言えるようです。当クラブについても同様かもしれません。今後の動向に注目し、私達自身へのフィードバックも必要だと思われます。

クラブの備品貸し出しについて

クラブ所有のトランシーバーなどの備品（総会資料に掲載）は、「クラブ用トランシーバー等の備品取り扱いに関する申し合わせ事項」（2020 年 2 月 8 日施行。総会資料に掲載）に基づき、クラブ員の皆さんへの貸し出しが可能となっています。なお、今回整備したポータブル電源も貸し出し対象です。

借用を希望される方は事務局までご連絡ください。

７月下旬、私の耳が突然不調をきたしました。左は水が入った時のようにゴモゴモと濁った低音域しか聞こえずほぼ役立たずの状況、右は自分の声と鼻呼吸音が響いて聞こえ、これまた不快極まりない状態となったのです。いやー、あせりました。このままでは日常会話に支障が出るのはもちろん、大好きなアマチュア無線の音声やモールス符号による交信が困難になります。

病院に行くも、検査のみですぐに治療ということでもなく･･･。発症の一因としては、加齢と水分不足が考えられるとのことでしたが、この先どうなることやらと不安が募りました。とにかくなんとかしたい一心で、水分を多くとったり、マッサージしたり、交流磁気を当ててみたりしていたところ、半月ほどで自然と症状が改善してきました。今は再発しないことを祈るばかりです。

皆さんも耳の健康にはくれぐれもご注意ください。

Let’s enjoy ″Ham life″　　Aki

事務局　三浦明彦（ＪＡ７ＩＵＸ）
〒987-0602 中田町上沼字大泉門畑 55-1
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://www.jarl.com/tome/
Ｅ-mail：ja7zyk@jarl.com
ＴＥＬ：０２２０－３４－４９８６